

## 令和3度 第1学期始業式式辞

校長 澤山 陽一

3年生190名、2年生206名のみなさん、進級おめでとうございます。

本日4月8日から、令和3年度がスタートします。3年生にとっては、高校生活のまとめの年であり、自分の進路の実現のために最大限努力する年となりますし、2年生は、高校生活にも慣れて、日々の生活の中味を充実させる年になると思います。本日午後からは新入生163名を迎え、新たな伊予農が動き始めます。本年度もどうぞよろしくをお願いします。

ところで、みなさん、愛媛県といえば、やはり「みかん」ですよ。では、私たちは、柑橘の名前をいったいいくつ言えるのでしょうか。試しに、私が言ってみたところ、約20個くらいの名前しか出てきませんでした。

私がなぜ突然こんなことを言い出したかと言うと、2月に行われた伊予農業高校について外部の方に評価していただく学校評議員会の席で、ある評議員の方から「青森県の高校生はリンゴの種類をたくさん言えるらしいのですが、愛媛の高校生はどうなのですか。」という質問をされたからなのです。

みなさんは現時点でみかんの種類をいくつ言えるでしょうか。本校の果樹園では、主に20種類の柑橘を生産しています。今回、果

樹班の協力により、靴箱に愛媛の柑橘に関するパネルを設置しました。まずは、本校生から、「みかん愛」を育てていきませんか。そして、この取り組みを県内の他の高校にも広めていきましょう。愛する愛媛のために、よろしくお願いします。

さて、本校は、令和3年度、愛媛県教育委員会の指定を受けて、「心の教育」を一年間実践していくことになりました。みかんの種類を覚えて発信することも地域を愛する「心」につながるはずで  
す。今年は、みなさん一人一人が、自分の「心」と向き合う一年になると  
思います。本校教職員と共に、生徒のみなさんも自分たちの「心」に磨きをかけていきましょう。

最後に、本年度も昨年に引き続き、心掛けてほしいことを三点お話しします。

一点目は、自分の命はしっかり自分で守ることです。交通安全を心掛け、事故に遭わない自分を作り上げてください。

二点目は、常に「笑顔と感謝」の気持ちを持って生活することです。笑顔の挨拶をお願いします。

三点目は、人の話を集中して聞く力を身に付けることです。多様な意見を聞き自分で考えることは、これからの時代にとっても重要なことです。人が話をしているときには、話をしている人の方を見てしっかり聞きましょう。

本年度も、この伊予農に笑顔があふれ、感謝の気持ちの表れであるあいさつが数多く飛び交うことを願って、第一学期始業式の式辞とします。